

近刊決定「海外水ビジネス戦略ーアジア市場の動向とベトナムPPP法の成否ー」

最近の状況

NEWS LETTER第21号をお届けします。新型コロナ対策に留意しながら続けてきました研究会活動の成果の一部が、日本水道新聞社の出版物という形で発行の運びとなりました。現在、6月中旬を目標にして最終段階の作業が進行しています。どうぞご期待下さい。

5月準定例会を開催しました

2021年5月20日（木）19時半から21時まで5月準定例会をzoom形式で開催しました。講師は今井茂樹氏、「東京都水道局の事業ー最新事業計画の分析」と題して講演をいただきました。講演内容は、東京都水道局が昨年から今年かけて公表した「長期構想」や中長期の「プラン」において、以前の構想や計画と較べ施設整備等に関してかなりの考え方の変化があることに注目、「更新期間長期化の見直し」を高く評価しました。また、「水道局は今後40年間、料金値上げしないで必要な事業ができるとみており、起債も最小限に抑える方針である」ことなどの説明がありました。

わが国で最大の水道事業の計画は、水道関係者のみならず、水に関心を持たれる方々に共通の関心事項でもあり、長く事業に直接携わった今井さんの説明は、わかりやすく、事業内容の理解に役立つものでした。

なお、財務比較分析作業チームの定例ZOOM会議は、先月5月でテーマも一段落したため一区切りにさせていただきます。

水道公論6月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「ベトナム国BIWASE社への出資について」（JFEエンジニアリング福田一美氏）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「キルギスといえば」を掲載します。



写真提供 工藤克典

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が6月11日（金）20時から。
- 定例会が6月17日（木）、講師は宇野安さんで、NEDOでの仕事をされたご経験についての報告。ただし、コロナの緊急事態宣言が東京都に発令中ですので、zoomでの開催となります。開催時間は、19時半から21時です。
- 7月の定例会は、7月15日（木）の開催予定です。3月22日に経済産業省から公表された「水ビジネス海外展開施策の10年の振り返りと今後の展開の方向性に関する調査」について取りあげる予定です。開催方式など詳細は、新型コロナの状況に応じて決定してお知らせします。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。